週刊ウイングトラベル WING TRAVEL WEEKLY

昭和44年6月10日 第3種郵便物認可

No.2371 増刊号 2017.2.20

毎週月曜日発行：1部324円（消費税込）1年間12,960円（消費税込）●国土交通省交通運輸記者会加盟

発行所/航空新聞社 The WING Aviation Press ●〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目8番6号 赤坂余湖ビル3階 ●TEL 03-3796-6646 FAX 03-3796-6645

www.jwing.net
mail@jwing.net

マリアナ特集 2017

サイパン、テニアン、ロタ。3つの島で、ちょっと一休み。

3連休はマリアナ。

思い立ったら
あのリゾートへ。

ホノルル、グアム、サイパン、パラオへ
デルタ航空の直行便がお連れします。

KEEP CLIMBING
DELTA
SKYTEAM

マリアナ政府観光局

リブランディングでマリアナ3島の魅力訴求力を強化 より旅行会社に近い存在に

2016年10月1日に新しい組織として再出発を切ったマリアナ政府観光局（MVA）は、日本市場でのこれまでの取り組みを見直し、北マリアナ諸島を構成するサイパン、テニアン、ロタのリブランディングを進めている。日本／サイパン間の航空路線の縮小にともない３島を訪れる日本人旅行者が減少しているなか、新たなプロモーション計画を打ち出し、マーケットを再度活性化さていく。「これまで以上に旅行業界との関係を深めていきたい」と話す同局ゼネラルマネージャーの一倉隆氏に今後の方針を聞いた。

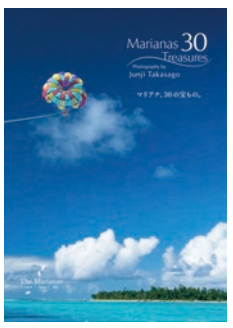
新パンフ制作、イメージも一新し、マリアナをリブランディング

MVAが新しいマーケティングタグラインとして掲げるのが『３連休はマリアナ。～サイパン、テニアン、ロタ。３つの島で、ちょっとひと休み～』。一倉氏は「マリアナは3連休でも気軽に行けるデスティネーション。3連休は年に数回あるが、それだけではなく休暇をマリアナで過ごしてもらいたい」と話す。

MVAでは、リブランディングの一貫として写真家の高砂淳二氏を起用し、『マリアナ、30の宝もの。』を制作。３時間で行けて３日間で楽しめる３つの島の30の魅力というコンセプトで、サイパンではグロット、マニャガハ島など15ヶ所、テニアンではタガビーチ、タガ遺跡など５ヶ所、ロタでは千本ヤシ、ロタホールなど５ヶ所、全島共通テーマとしてフード、カルチャー、お土産など５つを紹介する。MVAでは、この「30の宝もの」を商材として旅行会社に提案し、商品造成を働きかけていくほか、特別企画として大手旅行会社とのコラボレーションも積極的に展開していく計画だ。

同氏の撮り下ろしによって３島のポスターイメージも一新した。サイパンでは世界屈指のダイビングスポットである「グロット」、テニアンでは透明度の高い「タガビーチ」、ロタでは自然豊かな「千本ヤシ」を取り上げ、美しい自然だけでなく、アクティビティも楽しめるデスティネーションとしての訴求を強めていく。

また、それぞれの島にテーマカラーを設定。サイパンには美しい海をイメージさせる青、テニアンには世界一辛いと言われるテニアンのペッパーを由来とした赤、ロタには豊富な自然をイメージする緑とし、各島の個性を打ち出していく。



写真家の高砂淳二氏を起用したパンフレット『マリアナ、30の宝もの。』

イメージを一新した新ポスター

旅行会社に近い存在に、観光大使も積極活用

旅行会社向けの取り組みとしては、商品造成の働きかけに加えて、販売の最前線で働く若いカウンターセールスの教育にも力を入れていく。「マリアナはファーストタイマーが多い。そのため、カウンターセールスの力は重要」（一倉氏）との認識のもと、３島の魅力とともに「日本から一番近いアメリカ」という認知を広めていきたい考えだ。

2016年には、デルタ航空の協力のもと旅行会社向け研修旅行参加者を「マリアナ観光大使（アンバサダー）」に任命した。現在のところカウンターセールス、企画、営業などを担当する223名。MVAでは、今後の販促でこの観光大使の協力に期待をかけるとともに、プロモーション方針などについても意見を吸い上げ、今後の活動に生かしてく。

昨年10月の立ち上げ以降、新生MVAは旅行会社との関係をさらに深化させている。「観光局はもっと旅行会社の近い立場でなければならない」との考え方を示し、情報収集でも商品造成でも「もっと観光局を活用して欲しい」と呼びかける。

マリアナ政府観光局スタッフ（左から岡部氏、一倉氏、澤田氏、嶋田氏）

マリアナ観光大使（アンバサダー）

新しいイメージキャラクターでコミュニケーション強化

消費者向けにはデスティネーションとしてのコミュニケーションを強化していく方針だ。これまでは、ゆるキャラのサイパンだ！に頼るところが多かったが、今後はデジタルツールを活用して具体的な提案を進めていく。今年2月1日には新しいホームページをローンチ。さらにインスタグラムを利用した写真投稿キャンペーンも実施し、一般旅行者からの投稿を促すことで、参加型のコミュニケーションを築いていく。また、フェイスブックなどSNSでの発信にも力を入れていく考えだ。

このほか、キュレーションメディアでの取り組みにも注力していくほか、紙媒体とのコラボではフィガロ・ジャポンで「マリアナでしたい７つのこと」を展開。2月にはメディア向けのレセプションを開催するなど、メディアとの協業にも力を入れ、マリアナの露出を増やしていく方針だ。

長年に渡ってサイパンのPRキャラクターとして起用してきたサイパンだ！も見直す。日本マーケット向けには、新しいイメージキャラクターとして現地の子供を公募。今後、「マリアナくん（あるいはマリアナちゃん）」として、さまざまな場面でマリアナをアピールしていく。

2月より新しくなったウェブサイト

3連休はマリアナ。
サイパン、テニアン、ロタ。3つの島で、ちょっと一休み。
The Marianas
Saipan | Tinian | Rota

主要ターゲットは20～30代女性、イベントへの誘客も

主要ターゲットは情報拡散力のある20～30代の女性。このほか、３世代ファミリー、富裕層、ダイビング、ゴルフなど特定の目的を持ったSITへのアプローチを強めていく。また、デスティネーションの特長としてファーストタイマーが多く、パッケージ比率も高いが、今後はFIT市場の開拓にも積極的に取り組んでいきたい考えだ。

また、昨年12月には、神奈川県の高校体育科の生徒75人がダイビングのライセンスを取得するためサイパンを訪れた例もあることから、将来のリピーターにつながる教育旅行にも注目する。

修学旅行でダイビングのライセンスを取得

スポーツイベントも開催

さらに、サイパンマラソンをはじめ、今年３月に初開催のワールドトライアスロンコーポレーション認定のレース「アイアンマン70.3サイパン」も、来年以降毎年開催される予定であることから、スポーツイベントへの誘客も進めていく。一倉氏は「スポーツだけでなく音楽など文化的な素材も育てていき、マリアナのプロダクトの質を上げていきたい」と意欲を示す。

大型ホテル開発プロジェクト進行中、グレードアップする宿泊環境

サイパンでは新しいホテルが続々とオープンしているほか、新規開発プロジェクトも進行中だ。昨年７月には旧ホテル・ニッコーサイパンがオールインクルーシブの「ケンジントンホテル・サイパン」として開業。また、６月にはガラパン地区に「セレンティホテル・サイパン」もオープンした。

2017年には、「ベスト・サンシャイン・ライブ」カジノで14階建ての「インペリアル・パシフィック・リゾート」のオープンを控える。さらに、2018年には、ゴルフコース併設の「コーラルオーシャン・ポイント・リゾート・クラブ」に、既存のコテージに加えて新たに約200室のホテルが開業する予定。また、サイパン北部のサン・ロケ地区には、新しくホテル「グローバルリゾート」がオープンする計画で、総客室数は、480室を予定している。このほか、2020年にはマリアナリゾートの跡地にベスト・サンシャイン社が2,000～3,000室の高層ホテル群を建設する計画だという。

現在計画されているプロジェクトがすべて完成すると、３島のホテル客室総数は2016年の約3,500室から約6,000室に増えることになり、グアムとほぼ変わらない規模になる。MVA本局は、主要な海外マーケットである日本、韓国、中国のバランスを取っていく戦略を立てており、新しいホテルを日本マーケット復活の起爆剤にしていきたい考えだ。

続々と進む新規開発プロジェクト

日本人旅行者増と航空路線拡大の好循環を目指す

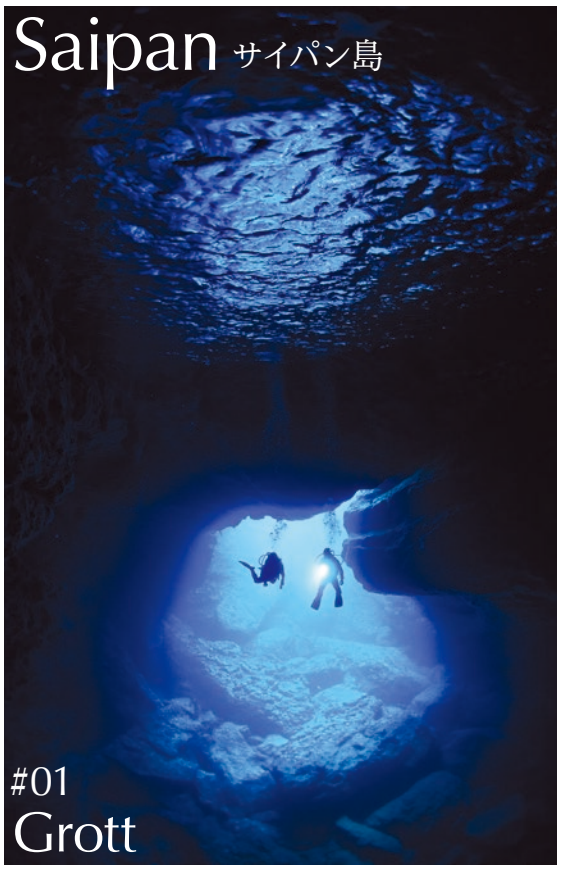
北マリアナ諸島への日本人旅行者数はピークだった1997年の約45万人から、2016年は６万人台へ。その大きな要因が航空路線の大幅な縮小。2005年の日本航空の全面撤退を皮切りに、2009年には関西路線、2011年には名古屋路線がなくなり、2016年もデルタ航空が減便を行った。

一倉氏は「航空路線の拡充を大きなテーマとして取り組んでいきたい。リブランディングによって、日本人訪問者数が増加し、それによって座席供給が増えていく好循環をつくっていきたい」と意気込む。

直行便だけでなく既存の航空路線であるユナイテッド航空（UA）のグアム経由便もアピールしていく。今年１月には大阪と名古屋からUA便を利用した旅行会社向けの研修旅行も実施したところ。UAは地方空港からグアムへの路線も展開しているため、日本各地からの送客でも期待は大きい。

また、チャーター便の活用も積極的に働きかけていき、実績を積むことで将来の定期便化につなげていきたい考えだ。

MVAでは、リブランディング、旅行会社との関係強化、消費者とのコミュニケーション強化、航空会社への働きかけなどの取り組みを通じて、まずは10万人の大台への再生を目指していく。



グロット
神秘的な光が、冒険心をくすぐる海中洞窟。

マニャガハ島
この小さな島には、きっと時間は存在しない。

聖母マリアの祠
見上げるだけで静かな気持ちになる、森の中のマリア像。

ガラパン
この街は、一日では遊びきれな

オブジャンビーチ
生き物たちの息遣いが聞こえる

バードアイランド
一日をバードウォッチングで過ごすのもいい。

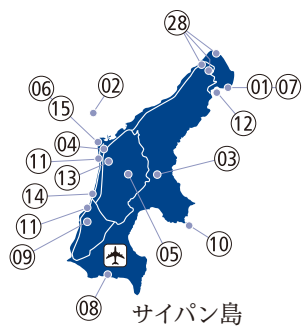
シュガーキングパーク・彩帆香取神社
製糖産業でサイパンを発展させた日本人実業家がいた。

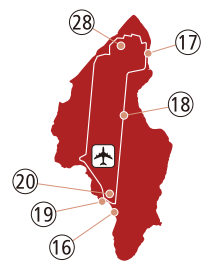
ビーチロードパスウェイ
歩いて走って、もう一つのビーチが楽しめる。

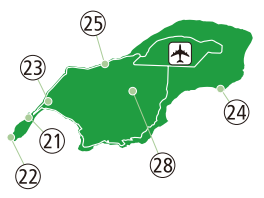
ロマンス
大切な人と大切な思い出を、大自然の中で。

Marianas 30 Treasures

Photography by
Junji Takasago

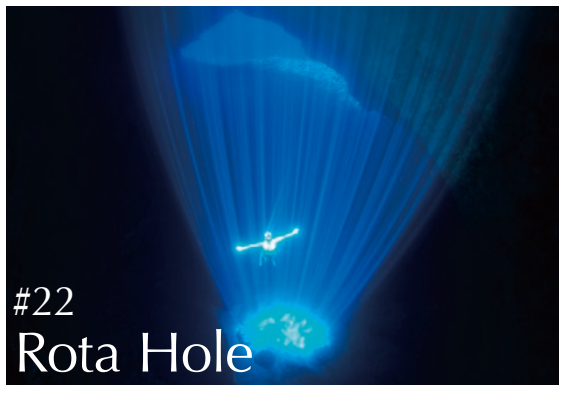






タガ遺跡
すべてが謎に包まれたままの、巨大な石柱遺跡。

千本ヤシ
一歩一歩、心が弾む圧巻のヤシ林。



ロタホール
ダイバーを虜にする、水中の小宇宙。

ソンソン村展望台
眺めれば眺めるほど好きになる

オールド サンホセ教会鐘楼
400年近く人々を見つめてきたベルタワー。

バードサンクチュアリ
人間が近づけない断崖絶壁に、海鳥たちの楽園。

テテトビーチ
本当は誰にも教えたくない、No

い。

タポチョ山
360°見渡せる、サイパン島の最高峰。

マイクロビーチ
1日のうちに海の色が7回変わると言われる、美しいビーチ。

スターゲイジング
こんなに星があったことに驚く、南国の夜空。

、サンゴ礁のビーチ。

マウントカーメル大聖堂
ススペの街のシンボルになった、美しい大聖堂。

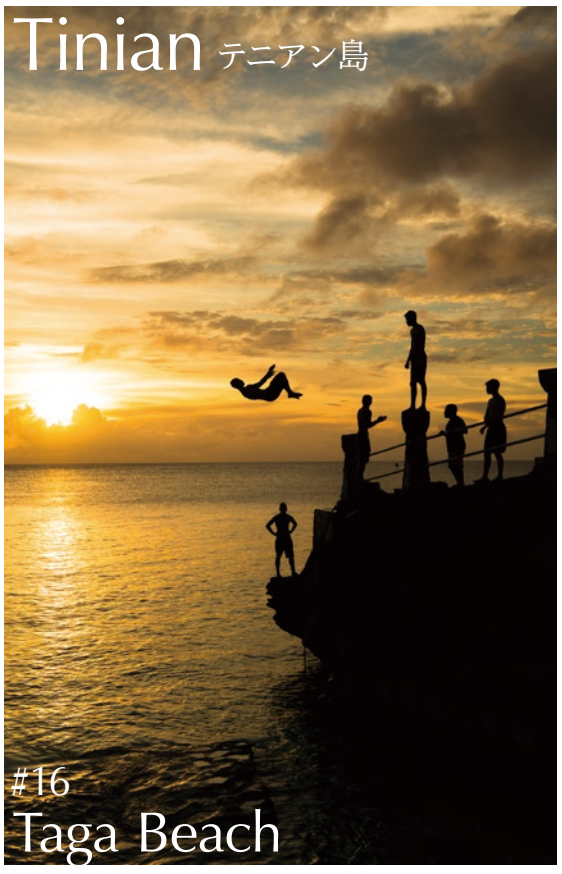
禁断の島
禁断と言われて、近づきたくなる孤高の島。

ストリートマーケット
地元の食や文化に触れる、市場という体験。

マリアナ、30の宝もの。

日本から飛行機で3時間と少し。
太平洋に浮かぶ小さな島々には、想像を超える色とカタチがありました。
島の人々しか知らなかった、美しい風景がありました。
紀元前から続く島々の長い歴史に守られ、育てられてきたもの。
人間にはつくることのできない、時間と造形の不思議。
それは、北マリアナ諸島の空と海と森と大地が、
長い時間をかけて生み出してきたもの。
これからも変わることのない、人々の心の中に
生き続けるこの島々だけのスピリットなのです。

そんな素朴な島々に隠されていた素顔を、
マリアナ政府観光局は「30の宝もの」としてセレクト。
その息をのむ絶景を、独自の文化を、フレンドリーな人々を、
ネイチャーカメラマンの高砂淳二氏が捉えました。
サイパン島、テニアン島、ロタ島。
それぞれの、新しい素顔をお楽しみください。



タガビーチ
ここにいるだけで、燃えるような海と空に染まっていく。

ブローホール
どのくらい高く吹き上がるかは、その日の天気次第。

ブロードウェイ
NYのマンハッタン島にちなんだ、ひたすらまっすぐな道。

る、幸せな街並み。

.1ビーチ。

フレームツリー
まぶたの裏に焼きつく、真っ赤なフレームツリーの花。

スポーツ
大自然のフィールドを、スポーツで遊び尽くす。

戦争史跡
戦争史跡を巡り、歴史の1ページに触れる。

メイド・イン・マリアナ
マリアナで生まれ、マリアナで育った逸品。

ナイトライフ
大人たちを魅了する、マリアナのナイトライフ。

変わりゆくマリアナ

新しいホテルの開業や、新規プロジェクトが進行中 変わりゆくマリアナから目が離せない!

宿　泊

2016年6月、ガラパン地区に「セレンティホテル」がオープン

サイパンのグルメやショッピングの中心、ガラパン地区のDFS向かいに、2016年6月、「セレンティホテル」がオープンした。

総客室は47室。ホテル１階には、人気レストラン「ババ・ガンプ・シュリンプ」が入り、向かいにはお土産物がそろう「I LOVE SAIPAN」が。お買い物にも、食事にもすべてが徒歩圏内で、レジャーにもビジネスにも対応できるのが特徴だ。

2016年7月、サイパン初のオール・インクルーシブタイプのホテル「ケンジントンホテル」が登場

サイパン北部に位置する元ホテル・ニッコーサイパンの跡地に豪華リゾートホテル「ケンジントンホテル」が登場した。

オールインクルーシブタイプのホテルで、インターナショナルビュッフェ、和食、中華、サンセットバーベキューから、１日３回好みのレストランを選択して利用できる。また、ビール、ワインなどを含む一般的なドリンクも料金に含まれている。

全313室で、客室からは、エメラルド色の海がパノラマに広がるパウパウビーチが一望できる。ホテル内には、コンセプトプールと、全長54mの半透明スライダーを完備。ケンジントンホテルの専門アクティビティチーム「ケニー（Kenny）」がサービスを運営し、アクアビクス、プールゲーム、ウォータースポーツカヤック、パドルボード、シュノーケリングなど、さまざまウォータースポーツが楽しめる。

2017年「インペリアル・パシフィック・リゾート」オープン予定

サイパンの中心街ガラパン地区に、高級感溢れるカジノ、5つ星ホテル、多彩なレストランとエンターテイメント施設が複合するインペリアル・パシフィック・リゾートが、2017年にオープン予定だ。

リゾート内には11のレストランと4つのバー、ナイトクラブやビーチクラブと、充実のライナップを誇る。その中でも4つのレストランがミシュラン3つ星、1つのレストランが2つ星を取得した有名レストランが進出予定。しかもその内4店がアジア初の出店となる。

さらに2017年中にオープンする予定の14階建ホテルは、豪華な340の客室と15のヴィラを提供する計画。また、カジノ施設は2017年夏前には開業予定で、300のカジノテーブル、400台のスロットマシンを展開する。

サイパン北部に2018年に「グローバル リゾート」また2021年にも大規模開発進む

2018年には、ホテル「グローバルリゾート」がオープンする予定だ。場所は、サイパン北部のサン・ロケ地区。マリアナリゾート＆スパとアクアリゾートクラブサイパンの間あたり。総客室数は、480室を予定している。

所有者は、テニアンダイナスティの出身のマイケル・クワン氏で、既に政府の許可も下り、建設が進行中だ。

また、2021年には、ベストサンシャイン社の開発により、現マリアナリゾート（ゴルフ場含む）の跡地に6つ星級カジノホテル棟10棟、１キロに及ぶショッピングアーケード、世界最大のウォーターパークが完成する予定だ。

新規レストラン

海沿いの絶景レストラン Surf Club Saipan

サイパン南部のチャランカノア地区のビーチ沿いに2016年に新しくレストラン＆バーがオープン。

目の前には、美しいビーチが広がり、夕焼けがとてもきれいに見渡せる居心地の良いお店だ。

メニューは、チャモロアイランドケラグエン、ツナポキ、ナチョスといった前菜をはじめ、シーザーサラダ、BLTサンドウィッチ、ハンバーガー、ステーキ、BBQリブなど、どれもボリュームたっぷりの、アメリカン＆アイランド・クイジーンだ。

テラス席の目の前は真っ白な砂浜。ビールを片手に、サイパンの絶景と美味しい食事を楽しみたい。

ZEN（鉄板焼き）

2016年7月にガラパン地区にオープンした本格的な創作鉄板焼きレストラン。

全席カウンターで、目の前でシェフが焼いてくれるスペシャルな鉄板焼きコースディナーが楽しめる。

コースメニューをはじめ、アラカルトも充実。

新鮮な魚やお肉を使った料理に合わせ、ワインの品揃えも豊富で専用のワインセラーから、好みのお酒を選んで、サイパンのグルメを楽しめる。

味千ラーメン

サイパンに日本のラーメンチェーン「味千」が2016年８月に誕生した。

場所は、ガラパン地区。

メニューは九州熊本の豚骨ベースの味千ラーメンのほか、餃子やとんかつ、チャーハン、焼きそばなど、品揃えも充実。

カレーセットやお弁当など、ボリュームもたっぷりで、地元の人たちで賑わっている。

朝7：00～夜22：00まで営業しており、日本語メニューもある。

IHOP（パンケーキ）

アメリカ本土でも人気のパンケーキショップ「IHOP」が2016年7月にオープンした。

IHOPは、1958年に朝食レストランとしてオープン。現在約1650もの店舗をアメリカを中心に世界各地で展開している。

シンプルなパンケーキをはじめ、たっぷりのクリームやフルーツがふんだんに乗ったアメリカらしいパンケーキも。ワッフルやクレープも充実しており、各テーブルに備え付けられたメープルやストロベリー、ブルーベリなどのシロップもかけ放題で、スイーツ好きには見逃せない。

その他にもオムレツやサラダ、サンドイッチやハンバーガーもある。

場所はガラパン地区のDFSから南へ徒歩約10分。

朝7：00～22：00まで営業しており、朝食からディナーまで楽しむことができる。

その他

空港ーホテル間の送迎を2016年12月より開始「マリアナグランドサービス」

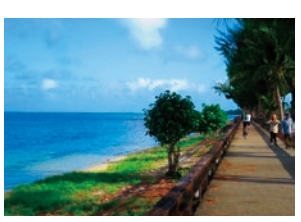
2016年12月より、マリアナグランドサービスがサイパン国際空港からホテルへの送迎サービスを開始した。

これまで、サイパンから各ホテルへは、各旅行会社が催行するツアーの専用送迎バスを利用するか、タクシーを利用するしか方法がなかったが、この空港送迎サービスを利用すれば、大人＄15.00、子供＄7.50、幼児無料で、空港からホテルまでの交通手段を確保することができる。

利用方法はウェブサイトで予約が必要。

特に個人旅行者には朗報だ。

海沿いの遊歩道がサイパンの新名所に「サイパンビーチパスウェイ」



ガラパン地区から南へ５kmのキリリ・ビーチ公園まで続く、海沿いの遊歩道。所々にベンチがあり、朝夕の涼しい時間には多くの人がジョギングやウォーキングする姿が見られ、新しい名所になっている。完全なバリアフリーになっていて、斜面はすべて５度以下とアップダウンを感じることはほぼない。夕焼けを見るにも、朝散歩するにも、運動がてら走るにも気持ちの良い場所だ。

この遊歩道は、特に頑丈な構造になっていて地球温暖化による海面上昇に伴う海岸浸食防止にも役立っているという。

4月からショーを全面リニューアル サンドキャッスル・ラスベガスシアター

ラスベガススタイルの華麗なスーパーイリュージョンと、本場アメリカスタイルの華麗なダンスが楽しめる「サンドキャッスル・サイパン」が、2017年４月よりショーを全面リニューアルする。

サンドキャッスル・ディナーシアターは、250のゆったりとした座席と最新の音響・照明設備を完備。

ショーのメインは、一流マジシャンによる華麗なイリュージョンで、世界的にも珍しいホワイトタイガーが登場する、日本では見られない本格的エンターテイメントだ。

全面リニューアルによりエキサイティングでミステリアスなショーにパワーアップする。

HOT NEWS

最新ホットニュースをお届け　マリアナおすすめ現地生情報!

渡航者におすすめしたいカフェやレストラン、ショップ、アクティビティを紹介

おすすめショップ

Cha Cafe and Bakery

ガラパン地区にあるおしゃれなカフェ＆ベーカリー。タピオカドリンクをはじめ、コーヒー、スムージーなど、ドリンク類が充実。毎日手作りで焼き上げられるパンやペストリー、ケーキやマカロンなど、スイーツの質も高く、美味しい。滞在中にほっと一息つくのにおすすめ。

ウィンチェルズ

カリフォルニア発祥のドーナッツショップ。70種類以上ものドーナッツをはじめ、シナモンマフィン、ベーグル、クロワサッサン、サンドイッチなど軽食類もそろう。また、コーヒー、紅茶、カプチーノはもちろん、フレッシュジュースやスープもあり、一日の始まりにぴったりの場所。料金もかなりお手頃でうれしい。

カーサ ウラシマ

フレンチ、イタリアン、中華、韓国に和食、さらにエスニックやチャモロ料理を取り入れたフュージョン料理のサイパンスタイルが楽しめる隠れ家的レストラン。その日仕入れた新鮮な食材が、絶妙なスパイスで味付けられている。閑静な住宅街の一角に建ち、プライベート感のある落ち着いた雰囲気。個室もありゆっくり食事が楽しめる。

Salty's Grill&Cafe

ガラパン中心部にあり、手軽に美味しいチャモロ料理が味わえる。お店自慢のオープンエアーのウッドデッキで、ＢＢＱを楽しめるのも特徴。客席はメインフロアー40席に加え、離れが３ブースあり、それぞれ16席づつあるのでパーティーその他宴会にも最適。１階にはバーも併設している。

おすすめアクティビティ

サンドバギーツアー

四輪バギーでジャングルの道なき道を進む大人気アクティビティ。ガイドが同行し、地元農園や穴場のビーチ、絶景ポイントにも立ち寄るツアーも。子供連れ用の２人乗りバギーもあり、サイパンの自然を身近に感じるオフロード体験を家族で楽しむこともできる。複数の会社がツアーを提供中。

グロットで星空観察

暗くなるとともにあらわれる満天の星空は、今にもそのまま降ってきそうなほど。ダイビングスポットとして有名なグロットは、夜には至上の天体観測場所に。展望台から見える太平洋の水平線の上は、まさに天然のプラネタリウムだ。肉眼での観察だけでなく天体撮影もできる。複数の会社がツアーを提供中。

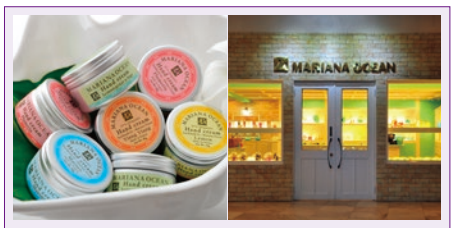
海越えゴルフコース（ラオラオベイ ゴルフ&リゾート）

“動と碧のイースト”“静と緑のウエスト”の２コースから成る雄大な36ホール。タポチョ山からラウラウ湾のほとりに広がるミクロネシア最大のコースだ。特にPar4の海越えゴルフコースはゴルファーにお勧め。ウエストコースは、池やバンカーを巧みに配したフラットなコース。断崖にレイアウトされた豪快なイーストは、２連続の海越えホールをはじめ変化に富んでいる。

サンセットクルーズ

水平線に沈む夕陽を眺めながら、船上でディナーとエンターテイメントを楽しむサンセットクルーズ。サイパンの夕焼けの美しさを堪能できるお勧めツアーだ。100人が着席できる大型カタマラン（双胴船）、定員90人の大型クルーザー、小グループでチャーター可能なクルーザーなど船のタイプは様々。そのほかランチ・クルーズや小型ヨットでのセーリングも楽しめる。

ショップ お土産



マリアナオーシャン

マリアナ諸島発のコスメブランド。マリアナ海溝近海から汲み取ったミネラル豊富な海塩、マリアナ諸島に古代から自生するハーブ、花、植物など、南国の自然の恵みが持つヒーリングパワーをギュッと閉じ込めた質の高い石鹸をはじめ、ハンドソープ、リップバウムなどを取りそろえる。お土産やプレゼントにも最適。

I Love Saipan

「I ♥ Saipan」のロゴが入った、Tシャツ、キーホルダー、マグネット、ぬいぐるみをはじめ、チョコレート、スナックなど、サイパンのお土産をほとんどを揃えるギフトショップ。また、女性に人気のプチプラコスメや、サプリ類なども多く取り揃える。ガラパン地区のStar Sands Plaza内をはじめ、出店も多数。

T ギャラリア by DFS

世界のリーディング・ラグジュアリー・ブランドの厳選コレクションを取り揃え、免税価格でショッピングできる。各ストアごとに、その場所ならではのローカル色豊かな商品を扱っているのも魅力。常にキャンペーンを実施しているので、お得な商品のチェックを。ガラパン中心部とカノアリゾート内に店舗がある。

Saipan Made Organic Shop

ノニ石鹸、ボージョボー人形など、マリアナ産の商品を多数取り揃える。他にも、フルーツ石鹸、オーガニックのハーブティーや、ハーブソルト。サイパンのコーヒーやクッキーをはじめお菓子や飲み物、雑貨など、メイドインサイパンにこだわった製品がたくさん。場所はPaseo de Marianas（パセオ デ マリアナ）内。

ジョーテン

食料品、日用品が調達できる地元の人も通うローカルスーパー。ミネラルウォーターやビールなど滞在中のドリンク類や、シャンプーやリンスなどの生活用品、雑貨など、ちょっとした買い物にも便利。ばらまき用のお土産なども、一通り買うことができる。

The ARC

I Love Saipanの隣に新たなショッピングビル「The ARC」を建設中。各種有名ブランドが出店予定だ。

マニャガハ島

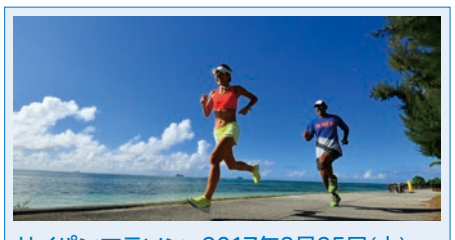
日本のダイビング雑誌で何年間も連続で「ベスト・シュノーケル・ポイント」に選ばれたマニャガハ島。パラセーリングやボート・シュノーケル、体験ダイビングなど、美しい海と楽しいマリンスポーツが楽しめる。島内には、更衣室、シャワー室、有料のロッカー、レストランなども完備。各社でバラエティに富んだツアーを催行している。サイパン中心部ガラパンからボートで20分。目にも鮮やかなマリアナブルーの海を眺めながらの移動は格別だ。

スポーツ

ミクロネシア初

アイアンマン70.3　2017年3月11日(土)

ワールドトライアスロンコーポレーション認定のアイアンマン70.3は、スイム1.9km、バイク90km、ラン21.1kmと、アイアンマンディスタンスの半分の距離。ミクロネシア地区での大会開催ははじめてで、来年以降も毎年開催される予定だ。スイム、バイク、ラン、それぞれのコースで、サイパンの美しい自然を楽しみながら大会に参加できる。



サイパンマラソン　2017年3月25日(土)

今年で第12回目を迎えるサイパンマラソン。青空のもと美しい海を眺めながらのランニングはまさに南国ならでは。50km、フル、ハーフ、10kmと、ベテランから初心者まで、それぞれのレベルにあったコースを選ぶことがでる。また北マリアナ諸島のスポーツ親善大使である間寛平さんがサポーターとして参加するほか、大会後のアワードパーティでは「よしもとお笑いライブ」なども開催される予定だ。

マリアナ政府観光局　新販促物・プロモーション

ポスター

「マリアナ、30の宝もの。」新パンフレット

汐留の屋外広告（2月～9月末まで）4面にて展開

ステッカー

マリアナちゃん

日本マーケット向けの、新しいイメージキャラクターとして現地の子供を公募。このほど、Jebro John Leon（5才）くんを選出。今後、「マリアナちゃん」として、さまざまな場面でマリアナをアピールしていく。

2月1日に改訂した新ホームページ

観光局オフィシャルインスタグラム

旅行会社との取り組み

マリアナ政府観光局が新しいマーケティングタグラインとして掲げるコンセプト『３連休はマリアナ。～サイパン、テニアン、ロタ。３つの島で、ちょっとひと休み。～』。マリアナ政府観光局では、同コンセプトのもと、大手旅行会社とコラボレーションを積極的に展開していく。その一環として、H.I.S.では2017年2月発売の「Ciao」にコラボレーション商品を発売。同コンセプトを落とし込んだ商品展開で、表紙には『マリアナ、30の宝もの。』の表紙にも採用された写真家高砂淳二氏撮影のマニャガハ島の画像を使用。中面では、３連休の過ごし方を提案している。

今後も「三連休でも気軽に行けるデスティネーション」として、積極的に旅行会社とのコラボレーションを展開していく予定だ。

MARIANAS
VISITORS AUTHORITY
マリアナ政府観光局

Saipan
#01 グロット サイパン

Tinian
#16 タガピーチ テニアン

Rota
#21 千本ヤシ ロタ

3連休はマリアナ。

サイパン、テニアン、ロタ。3つの島で、ちょっと一休み。

The Marianas
Saipan | Tinian | Rota

Marianas 30 Treasures
Photography by Junji Takasago